吉秀みぎわ保育園
入園希望の方からよくあるご質問

入園をご検討いただいている方からよく頂戴する
ご質問とその回答を一覧にまとめました。
この他、ご不明点ございましたらいつでもお問い合わせください。

社会福祉法人　美樹和会
吉秀みぎわ園
TEL：075-971-3331
（園長　信貴春美）

企業主導型保育所とは何ですか？

企業が自社従業員と地域のために設置した認可外保育園です。
当保育園は社会福祉法人美樹和会が 40 年の認可保育所運営経験を活かして保育を行う園です。
「株式会社吉秀トラフィック」がメインの連携企業ですが、他企業の方も連携協定を結ぶことで利用できます。
また、企業だけではなく地域(八幡市以外も対象)のお子様も受け入れている保育施設です。

保育料はいくらですか？

企業枠の方は毎月 10,000 円、地域枠の方は 15,000 円の保育料をお支払いいただきます。（口座自動振替ですので現金をご持参いただく必要はありません。）
非課税世帯（生活保護者、里親、ひとり親家庭含む）の方は幼保無償化により保育料は無料となります。
※地域枠の方は、保育認定(3 号)を取得されている必要があります。

企業枠で入園するにはどうすればいいですか？

保護者様がお勤めされている企業(ご両親のうちどちらか 1 社※子ども子育て支援金を支払っている企業である必要があり、個人事業主や公的機関は対象外です。）と連携協定を締結していただく必要があります。
もう一方の保護者の方からも就労証明書をいただく必要があります。就労されていない場合、お住いの福祉事務所から保育認定(3 号)を取得すれば問題ありません。
※締結いただくにあたって、企業への負担金やリスクは一切発生しません。
園から企業に対し、協定書の説明をすることもできます。
なお、企業枠は定員の半数を目処としており、枠が埋まっている場合は企業枠ではなく地域枠でのご入園のみ受け付けております。

地域枠は八幡市に在住されている方のみが対象ですか？

いいえ、企業枠、地域枠ともに八幡市以外の地域の方もご利用いただけます。

すぐに入園するのではなく、育休明けや翌年４月に入園を
希望する場合、予約はできますか？

当保育園では予約制度を設けており、年度途中または翌年４月から
の入園希望の方には予約票を発行し、枠を確保することができます。
(枠に空きがない場合も予約票を発行し、その番号が若い方から
ご入園いただくシステムです。)

お昼寝布団の持ち帰りはありますか？

いいえ、ありません。お昼寝布団は園で購入したものをふとんクリーニング料（年額 2,400 円）という形で提供しております。
シーツや掛布団の洗濯も当園にて行っておりますので、
お持ち帰りいただく必要はありません。

おむつの持ち帰りはありますか？

いいえ、その日に出た使用済みおむつは園で破棄しています。
なお、吉秀みぎわ保育園では紙おむつ(エリエールのグーン)を園で
購入し提供しています。特定の紙おむつや布おむつのご利用を希望
される方は、お持ちいただければ対応いたします。

車での送迎は可能ですか？

はい、保育園の前に駐車場がございます。

お迎えが遅れたときはどのような対応になりますか？

お仕事のご都合でお迎えが遅くなることもあると思います。
その際はお電話をいただければ、保育を継続することができます。
遅延金はありません。ただし、お迎えが遅くなる頻度が高くなるようでしたら、契約時間の変更(料金は変わりません)や時間外保育のご利用(18：30～19：00 の間が時間外保育にあたり、月額 2,500 円です。)をご案内いたします。

保護者会はありますか？

いいえ、保護者の皆様の時間的なご負担を軽減する観点から設けておりません。
保護者の皆様同士の交流は、親子遠足の機会に行っていただけるように工夫しています。

主な行事はなんですか？
参加しなくてはいけない行事はありますか？

参観日（0～2 歳児）や親子遠足（1・2 歳児）などがあります。
行事では、日常で積み重ねた子どもたちの成長を感じていただけるよう、そして子どもたちにとっても楽しい機会となるよう工夫しています。
また行事は主に土曜日に実施しております。
準備はすべて園で行いますので保護者の方には当日お越しくださるだけで大丈夫です。

連絡帳はありますか？

保育士が子どもたちにかかわる時間を最優先にするという観点から、個人の連絡帳は設けておりません。その日の子どもの様子は、クラスごとに写真と文章でお伝えできるよう、みぎわダイアリーとその日の給食写真をコドモンで毎日発信しています。（コドモンの登録が必要です）お迎えに来られた際に口頭でもしっかりその日の様子をお伝えしております。

保護者負担金はありますか？

「園のためにではなく、子どものためにお金を使えるように」。
この保護者支援方針のもと、入園・進級費用や給食費（※）については可能な限り、低減しています。
（※）当園は３歳児未満のため、主食費、副食費ともに金銭負担はありません。

給食はどこで調理していますか？
また、アレルギー食の対応はしてもらえますか？

給食・手作りおやつの調理は、すべて吉秀みぎわ保育園の厨房で調理し、提供する完全給食です。
そのため、お子様一人一人のアレルギー食に対応が可能です。
献立も当法人の管理栄養士・栄養士が、栄養価の充足や多様な食体験ができるよう配慮し、作成しています。
新メニューも随時導入し、子どもたちにとって「おいしい・たのしい」給食を心がけています。

発熱時、何℃でお迎えですか？

目安として 38.0℃を超えた時点でご連絡するようにしております。
38.0℃を超えない場合でも、感染症の疑いのある症状がある場合や、普段の様子と異なり体調不良が懸念される場合はご連絡する場合がございます。
お迎えをお願いする際も、保護者の方のお仕事の状況などを勘案し、柔軟に対応します。

子どもたちが外で体を動かす機会や、園外での活動はありますか？

園庭があり砂遊びやかけっこなどができる環境です。また、園の周辺には公園がありますので、お天気のいい日には園外へ
お散歩に出かけます。お散歩の際は、付き添いの保育士を十分に配置し、安全な経路を確認してから行くなど、安全第一に行っています。

災害対策はしていますか？

はい、月に１回の地震・火災訓練に加え、消防署から直接アドバイスを受ける消火訓練も行っております。
園外へ避難する場合、指定避難場所の有都小学校へ避難します。また、日中入口を施錠し、防犯カメラを設置するなど、防犯上の対策も講じているほか、不審者対応の訓練も園全体で行っています。

お弁当の日はありますか？

いいえ、ありません。親子遠足の際のお弁当も当園にて用意いたします。

入園の際に用意しておくものはありますか？
また、保護者が手作りで作るものはありますか？

手作りをお願いするものは一切ありません。ご家庭でお子さまとの時間をゆっくりお過ごしいただけるよう、ご負担をなるべくおかけしない方針を徹底しています。

子育て上の相談はいつできますか？

いつでもご希望を承っております。日々の子どもたちの様子は担当クラスの保育士が、発達面での専門的なご相談は臨床心理士・作業療法士・言語聴覚士が、いつでもお受けできる体制を整えています。お気軽にお声がけください。

見学はできますか？

吉秀みぎわ保育園を含め、美樹和会の施設はいつでもご見学いただけます。お気軽にお問い合わせください。

慣らし保育は何日かかりますか？

それぞれのお子さんの年齢や園の慣れ具合によって変わりますが、基本的な流れについては巻末の「慣らし保育について」をご覧ください。

吉秀みぎわ保育園　慣らし保育について

1. 慣らし保育のスケジュール(例)
ここで示すスケジュールはあくまで一般例です。子どもの様子やこれまでの経験(集団生活の経験があるか等)、体調などを勘案し、個々人にとってもっとも望ましいと考えられるスケジュールをご家庭とご相談の上、作成します。

年齢	慣らし保育の目標	所要期間の目安			第1週					第2週				
		目標ごと	全体日数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0歳児	1. 泣かずに過ごす	3日	約2週間(10日)	目標	泣かずに過ごす → ミルクを飲めるか(離乳食を食べられるか) →					お昼寝ができるか → (二度寝ができる) →				慣らし保育完了
	2. ミルクを飲める(7ヶ月未満) 離乳食を食べられる(7ヶ月以上)	2日												
	3. お昼寝ができる	5日		お迎えの時間(目安)	早 9:30	9:30	10:00	10:30	11:00	11:00	お昼寝から目覚めたとき	お昼寝から目覚めたとき	お昼寝から目覚めたとき	16:00
					遅 11:00	11:00	11:30	12:00	12:30	12:30				
1歳児	1. 泣かずに過ごす	2日	約2週間(10日)	目標	泣かずに過ごす → 離乳食、乳児食を食べられるか → ①食べられた場合 ↓ お昼寝してみる / ②食べられなかった場合 ↓ お迎え					お昼寝ができるか → ①2日間お昼寝ができた場合 ↓ 途中で起きても二度寝ができる or 一定時間布団で待てる				慣らし保育完了
	2. 離乳食または乳児食を食べられる	2日												
	3. お昼寝ができる	6日		お迎えの時間(目安)	10:00	10:30	11:00	11:30	①お昼寝から目覚めたとき	①お昼寝から目覚めたとき	①お昼寝から目覚めたとき	①お昼寝から目覚めたとき	①お昼寝から目覚めたとき	16:00
									②12:00	②12:00	②12:00	②12:00	②12:00	
2歳児	1. 泣かずにあそべる	2日	約2週間(9日)	目標	泣かずにあそべる → 乳児食を食べられるか → 1週間目は、保育園(環境)に慣れる					乳児食を食べられるか	布団に入る(寝られなくても体を休める)	布団に入る(寝られなくても体を休める)	おやつを食べられるか	
	2. 乳児食を食べられる	4日											慣らし保育完了	
	3. お昼寝ができる	3日		お迎えの時間(目安)	10:00	11:30	12:30	12:30	12:30	13:00	お昼寝から目覚めたとき		16:00	

保育園見学チェックリスト

	チェック項目	○	△	×	?
Ⅰ. 園の保育方針					
1	園の保育方針が、ご家庭の子育て方針に合っているものと感じるか				
2	園の理念や保育面で大事にしていることを見学時に尋ねたとき、わかりやすい言葉できちんと答えてもらえるか				
3	ホームページ等で方針が明確に打ち出されており、十分な情報を収集できるか				
Ⅱ. 保育の質					
4	各クラスに配置されている職員の数は十分か（1名の保育士が担当できる子どもの数は、京都市の基準で「0歳児3名、1歳児5名（ただし10月2日以降生まれは4名）、2歳児6名、3歳児15名、4歳児20名、5歳児25名」）				
5	ベテランから中堅、若手まで、幅広い年代の職員がバランスよく配置されている園か				
6	園内の雰囲気から、職員同士の関係性の良さが感じられるか（これは保育の質にも直接影響する）				
7	見学時に見た子どもたちが、いきいきと笑顔で過ごしている様子か				
8	園内全体が清潔で、整頓・掃除が行き届いているか				
9	子どもたちが遊ぶスペース、食べるスペース、寝るスペースがきちんと考えられて構成されているか				
10	保育室内におもちゃや絵本などが十分用意されているか、またそのおもちゃや絵本は老朽化していないか				
11	園庭があり、子どもたちが屋外で遊べる環境が整っているか				
12	園庭がない場合、近隣の公園などに遊びに行き、外遊びの機会が十分に確保されているか				
13	保育士は笑顔で子どもと接し、ともに遊び込んでいるか（またはしっかり子どもを見守っているか）				
14	保育士の子どもたちへの言葉がけはやさしく丁寧なものか				
15	園の行事は、日常保育との連続性をもち、園児の育ちを意識したものになっているか				
16	子どもの発達にかかわる専門家が園内にいて、発達の課題をかかえた子どもに、個別の支援を行える園か				
17	給食・おやつの献立の内容が充実しており、栄養価計算の基準もクリアしているか				
Ⅲ. 子どもの安全・衛生					
18	家具の四隅へのコーナークッション設置やドアの指詰め対策、階段からの転落防止策など安全対策が講じられているか				
19	乳児のお昼寝時の呼吸チェックをしっかりと行っているか（SIDSや窒息対策）				
20	園外に散歩に行く場合、「園外活動マニュアル」等に基づいた経路の設定や安全確保の計画があるか				
21	幼児（3歳児以上、特に5歳児）に交通安全意識を伝える取り組みが行われているか（園外活動の安全確保＋小学校進学時の事故予防）				
22	夏場の水遊びやプール遊びがある場合、マニュアルがきちんとあり、監視役と指導役の保育士が別々についているか				
23	食物アレルギーがある子どもに対し、誤食を防ぐための予防策を設けているか				
24	子どもの怪我や体調不良への対応、感染症予防活動を園全体でしっかり行っているか（看護師がいればいいというものではない）				
25	子どもに熱が出た場合など、お迎えまでしっかりした体制で見守れるか（どこでどうやって安静に過ごすか。ケアをどうするか）				

保育園見学チェックリスト

	チェック項目	○	△	×	?
26	保育中に通院が必要な怪我が生じた場合、保護者への連絡や病院への通院などにきちんと対応できるか				
27	感染症の流行期中だけでなく流行期前から、園内の感染拡大を防止する対策をとっているか				
28	不審者侵入を予防したり、侵入時の職員の対応がマニュアルになっており、訓練も行われているか				
29	災害（地震・台風・水害・土砂災害など）に備えたマニュアルがあり、毎月の防災訓練を励行しているか				
30	園バスがある場合、運行計画（安全な経路の選択、運転手の管理、車両整備、園児の昇降確認等）が実践されているか				
Ⅳ. 保護者支援					
31	日々の育児相談、発達相談をいつでも受けられる体制があるか				
32	日曜日と祝日（年末年始含む）以外はすべて開所しているか（お盆期間や3月末などに園都合で休園したり、家庭保育のお願いをしていないか）				
33	慣らし保育はどのくらいの期間が必要か、その理由も含めて園がしっかり説明できるか				
34	使用済みのオムツは家庭への持ち帰りでなく、園で処理しているか				
35	オムツを園で準備するサービス（有料）がオプションとしてあるか				
36	布団やシーツの持ち帰りがあり、家庭での洗濯の手間がかからないか				
37	毎朝の登園時の持ち物が多すぎたり、保護者の準備に負担が大きすぎないか				
38	家庭からお弁当持参の日がなく、毎日給食がしっかり提供されるか				
39	行事等で保護者の役割・負担がある場合、仕事と育児とを両立できるレベルか				
40	行事は、保護者の参加しやすい土曜日などに開催するよう配慮がなされているか				
41	園と保護者とのコミュニケーション手段として、スマホなどで扱えるシステム/アプリを導入しているか（冊子の連絡帳より簡便でスムーズ）				
42	保護者に対し、日々の保育、給食、行事などの情報をタイムリーに発信しているか（お迎えの際の担任保育士とのやりとりに加えて）				
43	京都市が徴収する保育料以外の、園が徴収する保護者負担金が高すぎないか				
44	お迎えの時間に柔軟に対応してもらえるか（仕事の都合や交通情報などで遅れることも当然あるので、そこで遅延料金を徴収されないか）				
45	子どもの発熱の場合、37.5℃を超えたらすぐにお迎えをお願いするのではなく、登園時の視診触診の結果や保護者からの伝達内容、子どもの普段の様子との違いなどから総合的に判断できるか（発熱がなくても普段と様子が違う場合はお迎えをお願いすることがある。他方で、37.5℃を超えても、それが一時的なものである可能性があれば、様子を見つつ園で保育を継続することもある）				
46	休日保育や19時以降の長時間保育、夜間保育にも対応しているか				
47	保護者同士の交流を希望する方が、交流を持てるような機会があるか（日々の送り迎えの際の交流機会・場所、行事などの機会、保護者会に限らず任意での保護者同士の繋がり、子育て支援クラブの存在など）				
48	保育園の卒園後も、園とのつながりを保ち、継続的なサポートを受けられるか（学童クラブの併設等による小学生以降の支援の有無）				
Ⅴ. 最後には（これがとても重要）					
49	親の直感として、園に好感を持てるかどうか、この園に通わせたいと感じるかどうか				
50	自分の子どもがこの園に通って、笑顔で過ごし、成長する姿が想像できるか				